

「第20回紀伊半島三県議会交流会議」の概要は、次のとおりです。

- 1 開催日 令和 8年 8月 4日(火曜日)
- 2 開催場所 「高野山学びの杜」(和歌山県伊都郡高野町大字高野山 26-5)
- 3 参加者 奈良県議会 乾 浩之 議長及び県議会議員 計 6名
三重県議会 藤田 宜三 議長及び県議会議員 計 7名
和歌山県議会 堀 龍雄 議長及び県議会議員 計 7名
総計20名

- 4 合意内容 次のとおり、三県が協力の上、今後とも取り組んでいくことで合意した。

議題1:半島防災に不可欠な紀伊半島アンカールートの早期整備について

紀伊半島一周高速道路、京奈和自動車道、五條新宮道路(国道168号)、奈良中部熊野道路・奥瀬熊野道路(国道169号)からなる「紀伊半島アンカールート」は、地域住民の生活道路であることに加え、観光をはじめとする産業の振興等地域活性化のための重要な幹線道路であるとともに、ひと度大規模災害が発生した場合、被災地域への迅速な救援や復旧復興活動の輸送路確保のため、とりわけ、半島という地理的特性を有する当地域にとって大切な「命の道」であるということを改めて確認しました。

以上の認識のもと、

- ・「紀伊半島アンカールート」をはじめとする幹線道路ネットワークの整備推進や、未事業化区間の早期事業化について
- ・第1次国土強靱化実施中期計画の推進に必要な予算を通常予算とは別枠での満額確保について、引き続き、3県が連携し、国への要望を行うことで合意しました。

議題2:紀伊半島地域におけるクマ被害対策について

全国的に多くのクマの出没情報や物的、人的被害が報告される中、紀伊半島3県においても、同様の情報、被害が増大、多様化、広域化するなど、人の生活圏への出没が顕著となっており、人的被害の拡大に対する懸念が高まっています。

本日の意見交換では、各県、各県議会が行っている取組、また、3県が共同・連携して行う取組を確認し、今後3県がより一層連携を強化し、対処していく必要があることについて認識が一致しました。

今後は、

- ・紀伊半島個体群としての対策が円滑に進むよう認識を共有していくこと

- ・紀伊半島ツキノワグマ広域保護管理協議会での出没・捕獲・被害状況等に関する情報交換と3県での生息数推定を引き続き実施していくこと
- ・以上の取組みを強力に進めていくため、上記協議会予算の確保等について国等に要望を行うこと、で合意しました。